

研修ニュース



〒518-0814 三重県伊賀市上友生 785 番地

TEL&FAX : 0595 (21) 8839 E-Mail : iga-ken@iga.ed.jp

研修講座 B-10 |人|台端末活用法

「ミライシード(ドリルパーク・テストパーク)の授業等での活用」 ベネッセコーポレーション 学校カンパニー

小中学校事業本部 義務教育支援2課 奥内 峻太さん

6月5日(金)に、「|人|台端末活用法」の研修講座を行いました。演題の通り、「ミライシード」について、先生端末と子ども端末のペアを組み、実際に操作しながら便利な機能を楽しむ様子が見られました。普段使用している際、子ども用のタブレットにどのように映っているのか、子どもたちはどのように問題を選択しているのか等を先生方のタブレットから同時進行で見ることができません。感想にもあるように、それぞれの画面を見ることで、発見したことが多くあったようです。



また質疑応答の場面では、受講者が質問したことについて、他の受講者から回答を得ることもありました。例えば「ミライシードは多言語に対応しているか」の問いに対して、「画面上部にある翻訳記号(【G】と【文】)が組み合わさったもの)を押すと、多言語で記述されている」というもの



のです。加えて各校からは、講師の奥内さんに「このようにしてもらえたら、より使いやすい」と積極的に意見を述べる場面がありました。両者とも普段から使用しているからこそだと感じました。

他にも個別最適な学びと協働的な学びを担保する機能や、私たちの校務の効率化に資する機能等が組み込まれています。校内研修等で還流していただき、実践につなげていただければと思います。

アンケートより【一部抜粋】

・子どもたちがより多くの問題に取り組んでいく方法や意欲を高める手段として有効であると思った。子どもたちそれぞれの習熟度に応じた課題を出す上では、特に使いやすいと思う。これまで通り、子どもたちが手書きで取り組むということも大切だと思うので、デジタルとのバランスをうまくとっていくことがより大切になると感じた。職場の先生方に還流して、活用の場を広げていきたい。【小】

・ルビや翻訳ができることを知らなかったので、確認できてよかったです。児童側としてタブレットの操作をすることで、より課題の選択をする際に使っていて困ること、説明が必要などころなどがわかりました。早速使ってみます。【小】

・1年目でミライシードの使い方を知りませんでした。今回の研修で活用方法を知ることができたので参加してよかったです。毎週の漢字・英単語のテストになら次の授業からでも活用できそうだと思います。テスト採点の時間を短縮し、即返却してすぐふり返りができる部分に魅力を感じました。【中】

・問題画面・解答欄を一度に見るための方法やAIドリルの活用についてなど、気になっていた部分が解消されました。本校では小テストをミライシードで実施している教科もあるので、今回の研修を通して得た知識を本校教員全員に還流したいと思います。【中】